

ベルマーク新聞 8月号

発行 公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JET両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

テトラパックの紙容器、その後どうなる？

🚧 回収センターとリサイクル工場を見てみよう



①回収センターで、中身を確認して仕分け ②古紙を溶解するため、次々と投入していきます ③細かなプラスチック片もしっかり除去 ④巻き上げられた巨大なロール ⑤規格サイズにカットされ、トイレットペーパーに

協賛会社の日本テトラパック(ベルマーク番号 17)のベルマーク運動は、テトラパックの紙容器を「開いて、洗って、乾かして」、専用回収箱に入れて回収センターに送ります。重量に応じてベルマークの点数になります。

日本テトラパックは2011年に協賛会社になりました。教育を支援するとともに、紙容器のリサイクルによって資源を有効活用することを目的にベルマーク運動に参加しています。回収に参加する学校・団体は着実に増え、2025年末で7000以上。年間平均700トン以上の紙容器が回収されています。

回収された紙容器が、どのようにリサイクルされるのかを見学しました。

訪れたのは、静岡県富士市にあるテト

ラパック回収センターと、市内にある「コアレックス信栄」のリサイクル工場。日本テトラパックとコアレックス信栄は協業しており、ベルマーク運動で回収された紙容器は、ここでトイレットペーパーやティッシュペーパーに生まれ変わります。

回収センターではスタッフ2人が向かい合って、手作業で箱から取り出し、秤で計量します。アルミ付き紙容器とアルミなし紙容器はここで仕分けされ、ベルマークの点数はアルミ付きが1kgあたり40点、アルミなしが1kgあたり20点になります。日本テトラパックはアルミ付き紙容器の回収に力を入れています。

計量が終わると、車で10分ほどのリサイクル工場に搬入されます。同社は古紙100%の再生家庭紙メーカーです。

古紙は、パルパーという装置で溶かします。溶かされた紙は、熟成タワーで約12時間ねかせ、紙とそれ以外のものを分離しやすくした後、別の装置で金具類や石など重量物を取り除き、次の工程でプラスチック類やフィルムなどを取り除きます。液状になったパルプに残るインクは気泡に付着させて取り除きます。さらに洗浄し、細かな汚れまで洗い落とします。

同社総合企画室の松尾千絵さんによると、この技術が同社の強み。通常は焼却処分され、リサイクルに回らない「難再生古紙」を原料に使用できるのです。

出来上がったパルプは抄紙機で巨大なロールに巻き上げられ、長さ幅をカットしてトイレットペーパーやティッシュペーパーになります。

コアレックス信栄は、2025年の大阪・関西万博で、会場に出た紙コップ、紙皿、紙パックなどを会場で使うトイレットペーパーにリサイクルする活動に取り組みました。難再生古紙を含む約96トンの紙資源を再資源化し、会場内のトイレで使用するトイレットペーパー約45万ロールを納品したそうです。

古紙1トンは、立木20本分のパルプに相当します。森林を保護すれば、この立木が年間に約280kgのCO₂(二酸化炭素)を吸収します。また、古紙1トンを焼却すると、約1268kgのCO₂を排出しますが、リサイクルすれば約489kgに抑えることができます。ベルマーク運動で紙容器を集めることは、地球温暖化対策につながっているのです。

熊本地震で、緊急友愛援助を募集

🚧 申込書は財団ホームページに、10月末必着

熊本県で7月28日に発生した地震で、財団はベルマーク運動参加校や団体から緊急の友愛援助を募集します。財団の援助資金と合わせて、被災された熊本県内の学校に支援をします。10月末日まで応募を受け付けます。ぜひ、ご協力をお願いします。

地震は最大震度7を観測し、大きな被害がでました。猛暑の中、多くの人が厳しい避難生活を余儀なくされています。多方面からの支援の動きは始まりましたが、これまでの阪神・淡路大震災や東日本大震災、能登半島地震などの経験からも、復旧や復興には継続した支援が求

められます。

ベルマーク財団では、1998年から世界中の子どもたちのために支援をしたいという声にこたえて「友愛援助」を続けています。友愛援助は、ベルマーク運動に参加している団体が、自分たちの備品購入の代わりに、ベルマーク預金を援助の寄付にあてることのできる仕組みです。

ご協力いただける場合は、財団ホームページにある「緊急友愛援助寄付申込書」に金額など必要事項を記入し、署名・押印のうえ、財団まで郵送してください。2026年10月末日必着です。



熊本地震で倒壊した家屋(朝日新聞社提供)